

第1回

あいち小児在宅医療研究会

介護保険分野での在宅医療は、在宅支援診療所や訪問看護ステーションの充実など発展してきています。一方で、超重症児・準超重症児を含めた重度障害児に対する在宅支援は、まだ社会資源が十分に整備されているとは言い難いのが現状です。愛知県内の小児期発症の障害児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一堂に会した第1回あいち小児在宅医療研究会を開催することとしました。相互に理解を深めて、顔の見える連携を構築することが目標です。第1回のテーマは、「NICUからの在宅支援」としました。ぜひ多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

愛知県心身障害者コロニー総長 杉浦 康夫
名古屋大学医学部障害児(者)医療学寄附講座教授 三浦 清邦

PROGRAM

13:30 ~ 13:35 開会のあいさつ

杉浦 康夫 (愛知県心身障害者コロニー総長)

13:35 ~ 14:35 基調講演

小児在宅医療の現状について

～あいち小児在宅医療研究会立ち上げにあたり～

座長：吉田 太 (愛知県心身障害者コロニー中央病院副院長)

演者：三浦 清邦 (名古屋大学医学部障害児(者)医療学寄附講座教授)

14:45 ~ 16:55 シンポジウム

愛知県のNICUからの在宅支援、現状と課題

座長：三浦 清邦 (名古屋大学医学部障害児(者)医療学寄附講座教授)

丸山 幸一 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科医長)

1 愛知県のNICUの在宅支援の現状と課題

演者：早川 昌弘 (名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 病院教授)

2 開業小児科医の立場から

演者：大谷 勉 (医療法人こどもの国 大谷小児科)

3 障害児(者)専門医療機関の立場から

演者：丸山 幸一 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科医長)

4 訪問看護ステーションの立場から

演者：富士恵美子 (訪問看護ステーションななみ 管理者)

16:10 ~ 16:55 ディスカッション

16:55 ~ 17:00 閉会のあいさつ

飯尾 賢治 (愛知県心身障害者コロニー中央病院院長)

参加費

無 料

■定員 300名様
(先着順)

皆様の参加を
心よりお待ち
申し上げます

平成24年11月18日(日) 午後1時30分～午後5時

名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟3階講堂

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞65番地 (公共交通機関でお越しください)

主 催 愛知県心身障害者コロニー・名古屋大学医学部障害児(者)医療学寄附講座

後 援 愛知県医師会・愛知県小児科医会・愛知県在宅療養支援診療所連絡会・愛知県看護協会
愛知県訪問看護ステーション連絡協議会

お問い合わせ
(事務局)

愛知県心身障害者コロニー 運用部総務課総務グループ

〒480-0392 愛知県春日井市神屋町713-8 TEL (0568) 88-0811 FAX (0568) 88-0839 ■担当：横井圭子・久保総子



出席のご回答は、FAXでお願いいたします。

FAX: 0568-88-0839

(運用部: 横井・久保 / 締め切り: 平成24年10月19日(金))

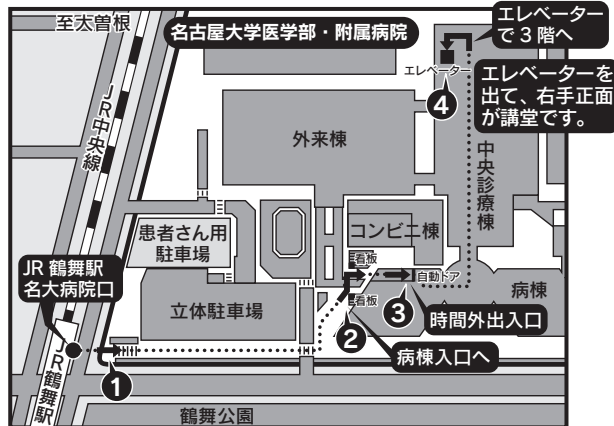
第1回 あいち小児在宅医療研究会 出席申込書

貴施設名			
貴施設所在地	〒 ー		
貴施設TEL	() ー	貴施設FAX	() ー
出席者名	1	(職種:)	
	2	(職種:)	
	3	(職種:)	
	4	(職種:)	
	5	(職種:)	
	6	(職種:)	
ご連絡事項	★研修の受講にあたり車イス等特別な対応を必要とする場合はご記入ください。 ----- ----- ----- -----		

次回から本研究会の案内がご不要の場合は、貴施設名をご記入の上、下記に○で囲んでファックスでご回答ください。送付を遠慮させていただきます。

■会場のご案内

名古屋大学病院 中央診療棟 3F 講堂
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地



次回から、この講習会の案内の送付は不要です。